

六郷特別出張所管内	
人口	男 33,862人
	女 32,083人
	計 65,945人
世帯数	33,507世帯
平成28年10月1日現在	

# 六郷わがまち

発行：地域力推進六郷地区委員会  
 編集：「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局：大田区六郷特別出張所  
 〒144-0055 大田区仲六郷二丁目44番11号  
 電話 03(3732)4885  
 FAX 03(3735)6249

六郷わがまち  検索



子ども達に伝えたい

## 『六郷の風物詩』

今回は「とんび凧」「どんど焼き」の二つを紹介します。年始に多摩川の河川敷で行われる迫力あるどんど焼き、青空に飛ばたくとんび凧をご覧になってみませんか！

# とんび凧

六郷で受け継がれる「空飛ぶかかし」をご存知でしょうか？  
 かつて多摩川は私たちの生活とともにありま

した。

江戸時代末期頃、多摩川の河原に干した魚等を狙うカラスなどを追い払うためとんびに似た凧を「かかし」代わりに作られたのが「とんび凧」の始まりのようです。

この六郷とんび凧は子どもたちに大人気となり、全国に広まりました。

大正5年には翼長7.2mの大とんび凧が沼津の御用邸に献上されましたが、余りの大きさに飾る場所がなく、代わりに翼長5.4mの大とんび凧が馬3頭が入る厩舎に納められました。

昭和初期には、欧米に輸出されるほど盛んに作られた六郷とんび凧でしたが、戦後、子どもの遊びも変わり、昭和34年六郷の凧屋はすべて無くなり、長い歴史を持つ郷土玩具は姿を消しました。

しかし、地元では「子どもの頃、親しんだ、とんび凧を復元したい」と言う声が高まり、昭和54年当時、六郷小学校教頭の上田格一氏や西六郷にお住いの吉田康秋・恒男氏兄弟ら、有志のご苦労により、とんび凧が復活しました。

以来、愛好家によって伝承されてきた「六郷のとんび凧」で最大の凧は大田区立郷土博物館に展示されています。また六郷地域力推進センターや区役所、六郷地域の病院、飲食店などで目にすることが出来ます。

「どんど焼き」など多摩川の河川敷で行われる行事には大空を舞うとんび凧が見られます。

今では六郷とんび凧の会が中心となり区内の小中学校やPTA・町会・文化センター等で、凧作りが盛んになっています。

凧作りに参加した小学生や園児たちから「あつ、凧おじさんだ!!」と声をかけられることも多いようです。

六郷のとんび凧作りは区報等でもお知らせがあるので、みなさん参加してみたいかがでしょうか。



翼長 7.2m



翼長 32cm

大田区立郷土博物館に展示されている羽切り大とんび凧

(沼津御用邸から里帰りし、和紙が張りなおされています。)

とんび凧は和紙と群馬の竹でできています。

1枚ずつ手書きし、骨組みは数年かけて乾燥させた竹で作ります。

大きさも色々  
(渡辺典郎氏 制作)



物づくり教室や講習会で子ども達で作るとんび凧は大人の発想にない色使いで驚かされます。

(方石富司氏と吉田恒男氏に取材をさせていただきました。)  
 参考文献：『六郷今昔小誌』『博物館ノート136』

# トピックス

## ◆祝! 南六郷中学校 男子バレーボール部全国大会出場

南六郷中学校男子バレー部は、関東大会ベスト8に入り、8月に行われた全国大会へ初出場しました。

結果はグループ戦で敗退となってしまいましたが、このような功績を果たすことができたのは日ごろの努力や厳しい練習の成果です。

次の大会での活躍を期待しています。



## ◆第20回六郷地区市民消火隊操法大会

六郷地区15自治会・町会の市民消火隊が、日頃の訓練成果を発表します。

ぜひご覧ください。

日時：11月20日(日) 8時から12時頃

会場：多摩川六郷橋緑地



## ◆美芸作品展

西六郷二丁目町内にお住まいの方々が育てた菊や、布で作ったつり雛、ストラップなどを展示します。

ぜひご来場ください。

日時：11月7日(月)から11日(金)

8時半から17時(11日は15時まで)

会場：六郷地域力推進センター 1階ロビー他



平成28年1月のどんど焼きであげられたとんび凧。(吉田恒男氏 制作)

どんど焼きは昔から宮中で行われていた儀式で、小正月(15日)に門松やしめ縄などを焼き疫病を払う行事です。語源は諸説ありますが、立ちのぼる炎がどんど燃えさかる様子から「どんど焼き」と言われたようです。長く行われてきた六郷どんど焼きでしたが、主催者の高齢化などにより平成18年に途絶えてしまいました。どんど焼きの時期になると、地域住民より懐かしむ声が高まり、宮本町会、南六郷三丁目町会、仲六郷四丁目町会からなる「※六郷どんど焼きを守る会」として、平成23年大田区の地域力応援基金スタートアップ助成も受け、6年振りに復活しました。当日は家庭や事業所から持ち寄られた門松や正月飾りが10m四方に積み上げられ、「六郷どんど焼きの会」代表



各家庭から持ち寄られた正月飾りで準備。

また、「六郷どんど焼きの会」で用意されたお汁粉、甘酒、さつまいも、みかんが無料で配られます。さつまいもは火が弱まってきたら竹竿につるして焼き芋にして食べる事もできます。今年近隣以外から来られる方も増え約2千人が参加されました。年々、門松や正月飾りが飾られることが少なくなり、持ち寄る数が減っています。来年は多くの門松や正月飾りが集まるといいですね! 開催にあたっては「六郷どんど焼きの会」の方々が近隣をまわり、ご協力とご理解をお願いしています。また安全の為に、消防署などにもご協力をい



勢いよく燃え上がる炎。

らの、ご挨拶のあと12時半頃点火されます。炎が上がるとその迫力に思わず後ずさりし、同時に観衆から「ワー」っと大きな歓声があがります。そして、新しい年の健康と幸せを願っている姿が多くみられます。



六郷どんど焼き 題字  
金丸敬堂氏  
東六郷在住の書家

## 六郷どんど焼き

日時 毎年一月第二日曜日 十二時半から

(みかんなど無料配布の時間は、早まる場合があります。)

場所 多摩川河川敷六郷橋緑地 (六郷土手駅下車)

ただいています。

後に残った焼却灰の鎮火は市民消防隊のポンプにより行われ、残土除去は民間の業者に依頼しています。

このような運営は「六郷どんど焼きの会」を中心に地元の方々や地域の事業所からの寄付で賄われています。

なお、当日は「六郷とんび凧」がある中、子供達に配布されたダイヤ凧を、親子で楽しそうにあげている様子が観られますよ。

これぞ六郷の風物詩!!

(六郷どんど焼きの会) 吉野鷹夫代表にお話を伺いました  
※「六郷どんど焼きを守る会」は 現在「六郷どんど焼きの会」と名称変更



最後に残った焼却灰 これもきれいに片付けます。

## 編集後記

とんび凧、どんど焼きの存続には多くの方々のご苦労、情熱がありました。かつてはとんび凧をラベルにした日本酒も販売されていました。六郷に住む「六郷とんび凧」のお酒をまた飲む日が来たらうれしいですね。2020年オリンピックの年、空の玄関口である羽田空港に「六郷のとんび凧」がほしいなああと強く思いました。

有田(仲四)、植松(南二団)、及川(宮本)、松田(高畑)

